

2019年

(平成31年)

1月1日[火]



沖縄大学

発行

沖縄大学同窓会広報委員会

〒902-8521 沖縄県那覇市宇国場555

☎098(832)6560

FAX 098(832)6560

第27号

同窓会報



記念事業に同窓会から大学へ100万円の贈呈



記念式典で挨拶する城間那覇市長



第59回沖大祭



オープニングセレモニー。テープカット



笑顔こぼれる学食で

同窓会が中心になって立ち上げた「沖縄大学支援同志会」は役員の方々の熱意あるご努力によって歩み始めました。同窓会員はもとより同窓生以外にも沖縄大学を愛する多くの入会者がおられます。資金も当初の

「学生食堂」は連日、学生達で賑わい、栄養面にも配慮された安価なメニューは利用者に大変喜ばれております。

勤勉と努力の年、あるいは収穫の年と言われる亥の年を迎え、皆様には新たな希望と決意に満ち溢れておられることと思います。昨年

は、文科省の認可を得た19年4月開設の「健康栄養学部管理栄養学科」は管理栄養士を目指す若者達にとって大きな朗報です。沖縄で初のこの学部は沖縄の長寿県復活への突破口にもなりましょう。

昨年、同窓会各支部（久米島、宮古、八重山、関東、台湾）の活躍は著しいものがありました。

目標額を上回ることが出来ました。感謝申し上げます。この「同志会」は年月を重ねる毎により充実し、母校を支える大きな柱に育っていくものと期待しております。

青年部会や女性部会の異業種交流会、企業訪問、講演会やピアノコンサートの企画など、年間を通し同窓会の活性化に大きく貢献して下さいました。

新年にあたり沖縄大学が「地域共創、未来共創」「地域に根ざし、地域に学び、地域と共に生きる開かれた大学」としてピカリと輝き続けることを共に見守り、支え、応援していくことを決意します。また、皆様にとってより健やかで笑顔満ち溢れる年でありませう、心より祈念申し上げ新年の挨拶と致します。

各支部、各委員会の昨年1年間の活動は大学及び同窓会の実態を内外に示し、高評価を得ましたこと誠に感謝に堪えません。

広報委員会の皆様は、より充実した内容づくりに大変な努力を重ねました。大学の情報、同窓会の活動情報の提供は多くの会員に喜ばれております。



沖縄大学同窓会
会長 友利 浩

新年のご挨拶



スポーツ大会実行委員会の60周年に向けたチャリティーゴルフ大会は大変な盛り上がりでした。多額の収益金を大学に贈呈できたことは感謝でいっぱいです。

60周年記念事業報告

事務局長 金城直樹

2018年6月10日、沖縄大学は創立60周年を迎えました。6月9日には大学内で記念式典及び記念祝賀会を開催し、来賓や多くの同窓会・後援会の皆様にもご出席いただきました。

記念式典では、沖縄大学に対する功労者や高額寄付をいただいた個人・団体への感謝状の贈呈が行われ、同窓会へは、同日に開催された同窓会総会において仲学長から友利同窓会長へ感謝状が贈られました。

祝賀会では、吹奏楽部の演奏や空手道部の演武も披露され、祝賀ムードを盛り上げてくれました。会の締めは「一〇〇年大学を目指して」の掛け声で一本締めが行われ、未来に向かっての決意を新たにしました。

創立60周年記念事業では、学生食堂と歴史資料展示エリアの整備も行われました。これらを紹介いたします。

【学生食堂】

『TERRACE 555』。国場キャンパスの住所、国場五五番地から命名されました。モダンな雰囲気、学食は、安くて豊富なメニューが提供され、連日多



連日にぎわう学生食堂

くの学生で賑わっています。【歴史資料展示エリア】

本館1階のエレベーターホール前には、巨大な歴史年表パネルが設置されています。本学の創設から60年の歩みが当時の写真と共に紹介されています。ショーケースには、沖縄短期大学時代のパンフレットや帽章等、歴史を映す品々を展示しています。

これら施設整備には、同窓会の皆様からいただいた寄付金も充てられています。多くのご支援を賜り厚く御礼申し上げます。ぜひ沖縄大学に足をお運びいただき、ご覧ください。今後ともご支援をお願いいたします。

皆様が誇れる大学へ



理事長 長濱 正弘

に向けて、初めての長期ビジョン「OKIDAI VISION 2028」も制定いたしました。大学憲章である「地域共創・未来共創の大学へ」の具現化を目標に

明けておめでとうございませう。皆様におかれましては、ご家族ともども希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃の学生支援、大学運営へのご協力を厚く御礼申し上げます。

沖縄大学は昨年、節目の60周年「還暦」を迎えました。60周年記念事業として、学生食堂の設置、アネックス共創館(3・4階)の整備、歴史資料コーナーの設置に取組んで参りました。

昨年6月に念願の学生食堂をオープンし学生、教職員から好評を得ております。また歴史資料コーナーも記念式典の日にお披露目いたしました。同窓会・後援会はじめ会員の皆様、企業、個人、大学の教職員等、ご寄付を頂きました多くの皆様方に改めまして心より感謝申し上げます。

60周年を機に次の70周年

卒業生の皆様を誇れる大学を念頭に、存続発展に全力を尽くして参ります。引き続き、ご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

新しい希望の年へ



学長 仲地 博

名が沖大の出身です。施設面では、アネックス共創館の整備と新学部棟の建築、テラス555(学食)のオープンと一段と充実しました。

【沖縄で一番元氣な大学です】沖縄大学は上り調子の中で、新しい希望の年を迎えました。4月健康栄養学部が開学します。県内で初めて管理栄養士を養成します。法経学科は、3コース制や卒論の重視、公務員予備校と提携した課外講座の充実など改革が進んでいます。それに相応しい名称への変更も検討中です。新しい名称は、地域デザイン学部が有力です。来年4月を予定しています。

こども文化学科は、教員採用試験への現役での合格者が19名という実績を上げ、高校や社会から注目を集めています。健康スポーツ福祉専攻も、教員採用試験に4名の合格者を出しました(3名沖縄県、1名は静岡県)。中学の保健体育の教師への道は大変しく、270名が受験し、合格者はわずか12名。そのうち3

研究面では、「沖縄型福祉社会の共創」を掲げて、文部科学省に選定された事業が最終年を迎えます。「こどもの貧困研究と実践は沖大」との評価が定着しました。

【70周年を展望します】

60周年にあたり、沖縄大学は次の10年を見据え、「OKIDAI VISION 2028」を策定しました。これは沖縄大学憲章を深化・進化させるもので、10年後の沖縄大学の像を描き出すものとなります。新しい大学像は、「地域がキャンパス、地域のキャンパス」を謳(うた)います。学生が地域をフィールドとし地域共創を実践するとともに、地域の人々が大学に集い「知」と「人」の交流拠点となることを目指します。

2018年度

沖繩大学同窓会定期総会

沖繩大学同窓会定期総会が6月9日(土)本館102教室で開催され、全議案を上程どおり全会一致で承認した。90名の同窓生が出席した。

総会前に仲地博沖繩大学学長より、同窓会へ創立60周年記念事業への寄付に対する謝辞と感謝状の贈呈があった。

総会は稲嶺論同窓会副会長司会進行のもと、開会挨拶玉城舞瑛子副会長、友利浩会長挨拶の後、議長団に喜納憲利、末吉直、議事録署名人に中村信孝、中村盛彦を選出し議案審議に移った。



同窓会定期総会

た。

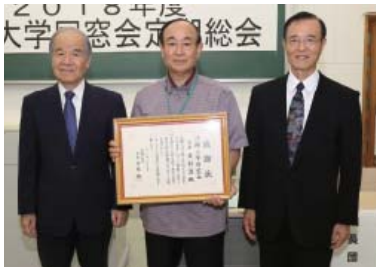
議案審議事項

第1号議案(2017年度事業活動報告及び収支決算承認に関する件)

第2号議案(2018年度事業計画(案)及び予算(案)に関する件)

担当者から説明提案され、質疑の後、承認した。

主な事業は同窓会会報の発行。各支部、部会及び沖繩大学支援同志会への支援。在学生への支援、及び学習と各種活動のため資格取得支援補助等が承認された。議長団降壇の後、閉会挨拶を金城正美副会長が行った。総会終了後沖繩大学創立60周年記念式典・祝賀会に参加し祝った。



仲地学長より感謝状の贈呈

沖繩大学冠奨学金授与式

沖繩大学の2018年度冠奨学金証書授与式が8月6日(月)、同窓会館で行われた。

今年度、沖繩大学へは9社4団体1個人から991万円(30口)の寄付があり、30人の学生に授与された。

内2人は同窓会からの授与で、授与式では友利同窓会会長から、法経学科1年次の我喜屋貴哉さんと、こども文化学科1年次の友寄真南人さんに、同窓会八重山支部を含む有志からの奨学金と証書が授与された。この奨学金は経済的に就学が困難な学生を援助することで学業を奨励し、将来の地域社会への還元を目的に、2001年に創設されている。



中左から友寄、我喜屋の両君

山あい谷あい 管理栄養学部設置奮闘記

新学科設置準備室副室長 森田泰弘



森田泰弘さん

8月24日金曜日。朝からソワソワと仕事を手につかない。例年のパターンでは、8月最終週の前の週の金曜日、つまり今日こそが文科省から認可の可否の連絡がある日、と思われる。

3月から6月にかけて、事前相談、申請書の提出、申請書の差し戻しと修正、補正申請などで大学設置室に6回、私学行政課に6回、厚生局にも2回足を運んだ。一つの学部を創るというのは、やはり大変な作業で、まさに山あり谷あり、七難八苦、さすがに今回はまずいんじゃないの、的な修羅場を幾つも乗り越え、やっと迎えた運命の日である。

問い合わせと激励を頂いた。普段、新聞など読まないうちの娘まで知っていたのは驚いた。大事な認可がもう一つ残っている。管理栄養士は厚生省管轄であり、9月21日に九州厚生局へ栄養士養成施設指定申請を行った。新学部棟の完工を待って実地検査が行われ、今年の3月には認可が下りる運びです。

午前11時頃、内線のコールが鳴り「文部科学省からお電話が入っています」。やはり来た。緊張と期待の入り混じった気持ちで電話に出たのだが、文科省担当官から「本日午後、大学設置・学校法人審議会が開催される。本日中午に結果を知らせるので、連絡があるまで帰らないように」との指示。いつまでこのソワソワ感を引きずればよいのやら。

午後5時頃、内線のコールが鳴った。ついに来た。電話に出ると、文科省担当官から「本日午後開催された審議会において、沖繩大学の認可申請について判定を『可』とする答申がなされた」との通達。連絡役の文科省の事務官に何度も「ありがとうございます」と頭を下げた。

今年4月の開設までは、まだまだ紆余曲折ありそうですが、引き続き皆様のご理解とご支援をお願い致します。

新学部の設置に際しては、文科省へ「学部等設置認可申請(大学設置室)」及び「寄附行為変更認可申請(私学行政課)」の2種類の申請を行う必要がある。昨年

8月28日には長濱理事長、仲地学長、山代副学長が揃って記者会見。「2019年4月沖繩大学に県内初の管理栄養士養成学科が誕生！」のニュースは県内を駆け巡った。反響は予想以上に大きく、多くの方から



管理栄養学科が入る新築の4号館

同窓会奨学生 近況報告

沖縄大学大学院 現代沖縄
研究科地域経営専攻
瑞慶村 洋子

2018年4月沖縄大学
大学院に入学、あつという
間に後期の講義を受けてい
ます。

修士論文は難しいテーマ
を選んだことにやる気と後
悔が交錯し悩んでいます。
悩みながら3年で論文を完
成させたい。

研究を通し論文を書き上
げる事で「戦後の沖縄の通
貨交換の背景と必要性等」
を探求していきたい。

大学院の同期生が楽しい
メンバーで講義も盛り上が
り、勉強になることが多い
です。よき仲間たちに恵ま
れ感謝しています。



左から3人目が瑞慶村さん..

佛敎大学大学院

宮城 直子

昨年度より佛敎大学大学
院博士後期課程社会福祉研
究科に入学しました。

私の研究分野は社会福祉
思想史研究で、テーマは戦
後沖縄の社会福祉人材育成
の歴史を微視史の観点から
探求し、事象全体のありよ
うを描き出し考察すること
です。具体的には、沖縄民
政府・琉球政府時代の微視
的史料を含めた史料の発掘
を行い、戦後沖縄の社会福
祉の歴史理解を深めること
につなげていくことが目標
です。

佛敎大学大学院は歴史研



済州ナースィングホーム見学。宮城さんは右端。

究が充実しており、論文指
導教員の個別指導はもちろ
んのこと、2カ月に1回開
催される大学院研究会での
ディスカッションでは大変
刺激を受けています。韓国
や中国からの留学生も多く、
お互いの歴史観を理解する
機会にも恵まれました。こ
の恵まれた環境に感謝し、
研究に臨みたいと思います。

東京東村山市立東村山
第二中学校 教諭
横沢 大喜

私は昨年度、東京学芸大
学教育学研究科修士課程を
修了しました。修士論文の
題目は、「若手教師の成長
過程における『葛藤』に関
する研究——体育科授業研
究に着目して——」です。

私は本研究に取り組む中
で、優れた先生方や感動す
る授業に出会いました。そ
して今、そういった授業が
実践できる「魅力のある教
師」にいつかになりたいとい
う思いをもち、日々の教育
活動に取り組んでいます。
初任者として実務に励む中、

教師という職業はやるべき
ことが多く、忙しいと思う
時もあります。しかしなが
ら、教師はやりがいのある
職業であることも実感して
います。



右が横沢さん

私は沖縄大学で教師とし
ての信念を萌芽させ、進学
した大学院で教職について
深く学び、自分自身を成長
させられました。今後はこ
れらの経験を活かし、教師
としての大きな花を咲かせ
ることで、お世話になった
大学や地域に貢献したいと
考えています。これからも
研鑽に励み、未来を切り拓
く教師になることを誓い、
報告を終えます。

11月3・4の両日、第59
回沖大祭を開催しました。
今年度は挑戦の年で、「平
成最後の大量れ 来い！
濃い！どっ恋！沖大祭」
をテーマに、実行委員一
同、一丸となり頑張りまし
た。テーマは、来場者の皆
様に恋をするようなドキド
キ・ワクワク感を感じてほ
しいという思いからです。



カチャーシーを楽しむ参加者たち

老若男女を問わず来場者
が一体となれるイベントに
したいと思い、1日目の
締めは「エイサー」。2日
目はメインイベントとし
て、県内大学祭初の「泡
パーティー×バルーンパー
ティー」を企画しました。
初日は雨に見舞われ屋内
のステージとなりましたが、
大雨の中、たくさんの方
が見え、最後には全員が

舞台上りカチャーシーを
踊りました。
2日目は天候に恵まれ
屋外での開催となり、「泡
パーティー×バルーンパー
ティー」は大盛り上がり。初
めて会う人ばかりの中、一
緒にダンスをしたり写真を
撮ったりと、会場は笑顔で
いっぱい。この日だけで
来場者が1200人を超え
ました。多少のアクシデン
トもありましたが、皆様か
ら多くの「楽しかった」と
の、喜びの声を頂きました。



泡パーティーを楽しむ参加者たち

今回の沖大祭を通し本校
の魅力が多くの人に伝わっ
たと思います。また、沖大
祭の成功は周りのスタッフ
に支えられたからです。こ
れからも沖縄大学の発展を
目指して頑張っていきます。

大学祭を終えて

実行委員長 具志堅 萌

沖縄大学支援同志会

会長 新垣 淑典

新年あけましておめでとうございます。昨年、支援同志会設立総会で会長に選任された新垣淑典です。

私は沖縄大学の卒業生ですが、この支援同志会には卒業生であるなしに関わらず当会の目的に賛同して頂いた個人・法人の多くの方々にご入会頂いています。沖縄の貧困問題がマスコミに取り上げられるようになり、多くの方が貧困問題に関心を持つようになったと思います。しかし実際に身近な事としてとらえている方は少ないと思います。ほとんどの方が普通に生活を送る中、大学に通えるようになった学生が実は生活のため、学費を納めるため



支援同志会総会

にバイトに明け暮れ、本分である学業に専念できていない事にはなかなか気づけません。

加えて、離島や遠隔地出身の学生の場合は、転居して生活の根拠づくりから始めなくてはならず、そのために思わぬアクシデントが起きていることも聞き及んでいます。そこで先ず離島出身の1年生の支援を重点に取り組みたいと考えています。

支援同志会は有為な後輩達を支援し、社会に無事送り出すことを目的に今年も支援者を募り行動していきます。ご理解、ご協力をお願い申し上げます。



支援同志会懇親会

青年部会

2018年度 青年部会活動報告

2018年度青年部会は会員の皆さんの親睦や異業種勉強会を通して交流活動を行いました。

活動内容は会員家族との親睦を兼ね夏休み中の、8月11日(土)、名護市内にある人気の「オリオンビール工場」と、「ヘリオス酒造」を見学しました。両社は地域社会に貢献する企業として訪問。案内人から、製品が完成し流通する過程をビデオ

才を交じえながら分かりやすい説明がありました。9月16日(土)には異業種勉強会を実施しました。議題は「介護制度と沖縄県の課題と取り組み」についてと題し、青年部会副会長の下地操さんを講師に「介護保険制度の概要や支援事業内容、沖縄県の高齢者の取り巻く状況、沖縄県の今後の取り組み」について詳しく講義して頂きました。10月11日(土)は会員の親睦会として波の上公園にあるうみそら公園内で友利浩同窓会長、長濱理事長、

仲地学長を迎え観月会を実施しました。 青年部会長 末吉 直



ヘリオス工場を見学

関東支部

活動について

関東支部開設以来前支部長より引き継ぎ9年経過、役員減少にて一人体制のため、主だった活動はできていませんでした。

今期より役員体制を支部長、副支部長、事務局長の三人体制に強化してスタートを図りました。

2018年8月4日(土)品川プリンスホテル コーヒーラウンジにて友利会長を交え、関東支部の今後の活動について打ち合わせを行い、友利会長より沖

縄大学の現状、各支部の活動内容をお聞きし、現在の関東支部の状況を洗い出し今後の課題を見つけることができ有意義な会となりました。

まず個々に持っていた連絡網の一元化のため、名簿管理の強化を行い、年2回集まる計画を立て、絆を深め増員を図りたいと考えています。

また関東へ就職希望の学生との交流会に積極的に参加をして、関東支部にしか出来ない支援を行って行きたいと考えています。 2018年12月1日



同窓会関東支部懇親会

(土)銀座の貸ホールにて懇親会を開催し新たなスタートにして行きます。小さいですが一歩踏み出したと感じ関東支部を盛り上げて行きます。 関東支部長 久高 直人

沖縄大学同窓会 児童福祉特別奨学生証書授与式

沖縄大学同窓会児童福祉特別奨学生証書授与式が7月11日(水)本館104教室で行われた。

式は大学から長濱正弘理事長、仲地博学長らが出席。友利浩会長から奨学金と証書が福祉文化学科1年次知花あきなさんに授与された。友利会長は、「将来沖縄県の発展、沖縄大学のために頑張つて下さることを期待しています」と述べ、知花さんは、「児童福祉司を目指しています。4年間頑張ります」と抱負を語った。この奨学金は同窓会創立50周年記念事業の一環として設けられ、2015年度から新入生に入学金相当額を授与している。



前列中央が知花さん

2018年保護者懇談会

学生支援課 比嘉良彰

学生の支援及び保護者との連携を密に行うための本学保護者懇談会が、後援会、同窓会の協力の下、夏休みの8月から9月にかけて、県内5会場で開催されました。

今年度の日程は、8月30日(木)の久米島地区を皮切りに、9月5日(水)宮古地区、9月6日(木)八重山地区、9月11日(火)北部地区、9月15日(土)中南部地区の5地区で開催されました。各地区とも面談会終了後には懇親会を催し、保護者・後援会・同窓会・教職員との交流が行われました。

面談会では、保護者の皆



久米島地区。保護者懇談会の参加者

様と教職員が学生の就学状況や課外活動、家庭での過ごし方など、お互い普段目に見えない情報を伝え、意図の交換を行いました。保護者の皆様からは、大学教育のヒントを頂くことができ、充実した面談会となりました。

面談会後の懇親会では、保護者と教職員だけでなく、後援会、同窓会と幅広く交流を行いました。

保護者の参加者数は、久米島地区7名、宮古地区20名、八重山地区16名、北部地区30名、中南部地区152名で合計225名の参加となりました。学生支援課では、これか



宮古地区。挨拶する下地支部長

からも多くの保護者が懇談会にご参加いただけるよう、より意義のある保護者懇談会を開催していきたいと思えます。保護者の皆様にとつて大学の取り組みや4年生の就職状況、奨学金など情報を発信する場として有効活用していただきたいと思います。



宮古地区。保護者の皆さん



八重山地区。挨拶する石川支部長



八重山地区。保護者の皆さん



中南部地区。保護者の皆さん



中南部地区。乾杯の挨拶をする友利会長

38回目の地区優勝

第一〇〇回九州地区大学野球選手権大会(沖縄地区予選)が8/18~9/17まで開催され、本学硬式野球部が2季ぶり38回目の優勝を飾りました。

10/2~4に鹿児島県で開催された南部ブロック決勝トーナメントへ沖縄地区の第1代表として出場しました。

決勝トーナメントでは、熊本地区代表の熊本学園大学を10対0で勝利するも、準決勝で鹿児島地区の第一工業大学に0対6で敗退し、大会4連覇は果たせませんでした。

沖縄地区予選

- 優勝 沖縄大学 勝ち点4(8勝2敗)
- 個人賞 殊勲賞 與那嶺 光 (法経学科4年・石川高校)
- 新人賞 大城 翔太郎 (福祉文化学科健康スポーツ福祉専攻2年・糸満高校)
- 打撃賞1位 赤嶺 里樹 (法経学科2年・知念高校)
- ベストナイン賞(投手部門) 仲地 玖礼 (法経学科2年・嘉手納高校)

主将 新垣 洸二(福祉文化学科健康スポーツ福祉専攻3年)のコメント

今回の県予選では、春の悔しさを胸にたくさんの声援を受けながら優勝できました。しかし連覇を狙って挑んだ決勝トーナメントでは、力及ばず、優勝できませんでした。この敗退で見つけた課題を今後の成長に繋げていきたいと思えます。今回の遠征には、同窓会から多くの支援を頂きました。チームを代表して御礼を申し上げます。これから冬の厳しい練習を乗り越え、全国大会出場を目指し日々練習に励み、支えてくれる方々に結果で恩返ししたいと思います。



地区優勝38回目の部員たち



人物シリーズ
活躍する
同窓生 ⑬

金城 幸浩さん

短期大学部2部商経科
1970年卒業



この人物シリーズは、同窓生の社会的活動を紹介するとともに、同窓生同士のネットワークを広げること、在学生へのメッセージを通して沖縄大学との絆を深めたいとの趣旨で企画されました。

今回は沖縄県指定・無形文化財野村流の保持者で2018年11月に芸歴48周年記念・古希祝独演会を開催いたしました琉球古典音楽野村流師範金城幸浩さんです。

琉球古典音楽の道に入ったきっかけは？

北山高校を卒業し、沖縄相互銀行(現沖縄海邦銀行)に就職しました。銀行には4年間勤務しました。最初は名護支店に勤務し、那覇の与儀支店に異動となりました。

それから沖縄県労働金庫に移りました。琉球古典音楽を嗜む前の職場の先輩に誘いを受け同じ崎浜先生に入門しました。それがきっかけです。

高校時代からプラスバンドをやっていた音楽に対しては、もともと興味、趣味がありました。また、家の隣に部落の地唄の大先輩がおられ、耳慣れ聞き慣れで、いろんなきっかけが重なり古典音楽に関わってきました。

沖縄大学入学のきっかけは？

高校卒業後、銀行に就職。名護支店から3年目に那覇の与儀支店勤務となりました。勉強をしたい意欲は以前からあったので、沖縄大学が職場や家から近いこともあり、短期大学部2部(夜間部)商経科に入

学しました。

在学中の思い出は？

入学したのは二十歳過ぎでしたが仕事が大変忙しく、出席するのが大変でした。残業は多いし、仕事を終わって登校すると、授業は半分終わっていたことも何度かありました。

在学中は存続闘争で、大学が騒々しい時代でした。また、夜間部でしたが、仕事が定時で帰れることは難しい時代でした。

やっとの思いで授業を受けましたが、そのためか一生懸命、大学で勉強したという記憶はあまりありません。どうかして授業に間に合わせようか、そういう日々が毎日続いていました。2部でしたので、同級生は皆仕事を持っている人達で社会人ではありますが酒を飲みに行った記憶はありません。

一昨年、アメリカのロス

で公演があり、空港で沖縄県人会の世話をしている方に会いました。声を掛けたら大学の同級生でした。彼はアメリカに行ったと聞いたことがあったので、どこかで会ったような顔、だと思

い声を掛けたら大学の同級生でした。二十代でアメリカに渡り並大抵でない苦労を重ね事業に成功し、県人会の役員として活躍している同級生に会えたのはまったくの偶然でしたが、大変嬉しいことでした。

三線を始めたのは労金に転職してからです。仕事が忙しく、大学に行くのも三線を習う時間も多くなっています。

懸命に勉強した記憶よりも、仕事終わって駆け足で大学に向かった。どのように授業に間に合わせようかというところでした。そういう感じ2年間で過ぎました。

人との出会いは良かったと思います。高校卒業後、大学に入りたい気持ちは常に持っていました。同級生との交友は思い出にあり、偶然には会うことはありますが継続的な付き合いはありません。卒業してからの繋がりは殆どありません。

銀行では那覇に異動にな

り、1969年に沖縄労働金庫に転職しました。学生時代の職場は銀行と労金でしたが、労金に入ってからというので、労金から大学に融資を行った事がありま

す。当時私は融資の担当でした。労金から職員を派遣して、授業料の徴収を大学の職員と一緒に行った経験もあります。

大学への期待と在学生へのメッセージ

若い人が沖縄(琉球)の歴史、文化、芸能に関心を持っていたらと思います。

現在、南風原高校など芸能に関わるクラスもありますし、沖縄県立芸大も設立されています。若い人達は特化して集中的に行っている。昔は、芸は先輩から継承して来ました。

古典音楽の人口は頭打ちで、増えるという実感はありませんが、子供の三線教室や太鼓の教室所では少しずつ増えていきます。

風潮として、日本復帰までは地域の伝統芸能に対し

てはあまり見向かれなかったが、近年になって沖縄の伝統芸能、地域の事、沖縄の事、方言も含め見直されている。その中で国立沖縄劇場ができ、芸大ができた。地域の文化に対する考え方も、あるいは国や県、市町村を含めて取り組む姿勢が以前と変わってきています。

組踊りはユネスコの無形文化遺産、古典音楽と琉球舞踊も国の重要無形文化財に認定されています。しかし他所から高評があるから誇る訳ではありません。「自分が何者か」、そして「何者になるのか」を探し突き進むのが大学の勉強です。

そこで最初の問い「何者か」はまず自身の文化の基盤を固めなければ、精神の浮草となる怖れがあります。島の文化こそ根本の「自分の文化」であり、伝統芸能こそ、皆さんの文化の土台になると確信しています。



独演会で使用のポスター写真

文芸

東映の
チャンバラ映画



比嘉加津夫

懐かしの右太衛門

東映チャンバラ映画の名優、市川右太衛門と聞いて反応する人は、すでに少なくなっているのではないかと北大路欣也の父親といえは分かるかも知れない。顔がそっくりである。六〇代以上だったら右太衛門について大体の方は知っているであろう。片岡知恵蔵、中村錦之介、東千代之助、大友柳太郎、それに山形勲、月形龍之介、新藤栄太郎。

チャンバラ映画は小・中学生時代、楽しみの一つであった。大抵の映画は見ているつもりだったが、右太衛門主演の「謎の幽霊船」は思い出せなかった。ご存知「旗本退屈男」。あの、額に天下御免の向こう傷を持つ早乙女主水之介シ

リーズの一つである。この映画は琉球に退屈男がやって来て悪を懲らしめるというもので、シリーズ初のカラー映画だった。

旗本退屈男のこと

映画「旗本退屈男」の封切りは一九三〇（昭和五年）十月だった。もちろん、トーキー映画。原作は「右門捕物帖」の作家、佐々木味津三。佐々木は雑誌記者のころ、純文学作家を志す

が、親の借金を返さなければならぬとなって大衆小説を書くようになった。彼の実力を認めたのは菊池寛、彼に大衆小説をすすめたのは芥川龍之介。市川右太衛門は、たまたま這入った本屋で「旗本退屈男」に出合った。タイトルに引かれて買い、電車の中でページをめくると、なかなか面白い。すぐに佐々木味津三を訪ね、映画にさせて欲しいと願い出た。承諾を得ると、額の三日月傷をどうするか考えた。これは長州の七人組といわれる藩士と争ってできた刀傷で、天下御免の向こう傷と称されていた。早乙女主水之介は千二百石取りの旗本。独身で自由

人、しかも好男子であり、諸刃流の達人である。額の傷について原作では「白く広い額に……」とだけあり、髪は月代を剃っているのか伸ばしているのか分からない。

諸羽流正眼崩しの構えについて、原作では「篠崎竹雲斎直伝の……」としか書かれてなく、どういう構えをしたのか分からない。試行錯誤して、自分で型をつくっていった。

名台詞「額に冴ゆる三日月は、天下御免の通行手形。直参旗本、早乙女主水之介、人呼んで旗本退屈男と知っての狼藉か。ならば諸羽流正眼崩し、剣の舞いのひと差し、見せてくれるわ」と刃渡り二尺余の刀を抜く。

それで市川右太衛門は「旗本退屈男を作ったのは佐々木味津三だが、育てたのは自分である」と豪語するようになる。たしかに市川右太衛門がいなければそれは世間に知られることはなかったであろう。

映画界のあれこれ

戦前のこと。大東亜戦争のムードが最高度に達すると「欲しがりません勝つまでは」の気運が高まり、自

由気ままに生きる退屈男が世間から批判されるようになる。

もちろん煽っているのは軍部と大政翼賛会。「戦意高揚で一丸となるべき時に、派手な衣装をまとって退屈しているサムライは許せない」というわけだ。それで旗本退屈男は劇場から消えた。

戦後は戦後で、「刀を振り回したり仇討をテーマにしたチャンバラ映画は作ってはならない」とGHQから命じられた。それが解禁されたのは一九五〇（昭和二十五年）年である。

東映の看板として定着するのは五三（昭和二十八）年の「退屈男八百八丁罷り通る」からであった。そのころ東映は専属映画館を増やし、二本立て上映に踏み切る事業拡大の動きに出る。そのためどうしても若手の新人が必要とされた。最初に目をつけられたのは東千代之介であった。東京芸大邦楽科を卒業し日本舞踊の坂東三津五郎に師事した本格派。しかも父親は長唄の杵屋弥三郎。「舞台だと踊っていても自分の姿を見ることができない。映画ならスクリーンに映されるか

らたつぷりみられる。面白そうだ」と引き受けたという。

第二号は中村錦之介。三世中村時蔵の三男で、美空ひばりの相手役を探していたひばりの母親、加藤喜美枝に気に入られた。昭和三十年には尾上菊五郎夫人の養子に入っていた大川橋蔵が、東映の目にとまり、さらに里見浩太郎、桜町弘子、大川恵子らが次々と抜擢されていった。

徳川の紋どころ

「謎の幽霊船」だが、琉球王府は「尚貞王が病に伏し、息子の美佐丸は乱心しているため次の国王に阿麻和利を推挙してもらいたい」と薩摩に使節を送っていた。そこに薩摩の事情を検分しようとしてきた退屈男が、ある事件に巻き込まれて琉球に乗り込むことになる。美佐丸の乱心は阿麻和利に加担する家老らをあざむくために取られた手であった。

主水之介はその辺の事情を知り、悪巧みをする家老一派を退治することになる。こんなエピソードもある。沖縄のある作家が水戸黄門の琉球国漫遊も制作して

欲しいと関係者に申し出たことがあった。返事は「理由は「当時の琉球で三つ葉葵の紋どころを見せてもその意味の大きさを理解する者はいない」ということだった。

そこが映画なのだが。虚であることを実のごとく見せるワザ。それをすでに裏づけていたのが、「謎の幽霊船」であった。ただの素浪人と思われていた退屈男が家老や阿麻和利一派と戦ったあとに直参旗本を名のり、三つ葉葵の紋どころを見せると敵側は平身低頭して一件落着するのである。

編集後記

己亥 明けましておめでとございます。県内初となる「管理栄養学科」が来る4月開設。小学校教員採用では過去最多の現役19人が合格。これは同窓生にとつてビッグニュースです。分りやすい誌面づくりを心がけ、できるだけ多くの同窓生を登場させたい。「活躍する同窓生」へのご一報、「文芸」欄への投稿をお待ちしています。ネットワークづくりが編集方針です。

沖縄大学同窓会
広報委員会委員長
中村盛彦